

<「知るっば!久留米」 令和2年7月9日(木) 12:30~放送分>

筑後川の生き物 ～第2回～ エツ

<ゲスト：筑後川防災施設くるめウス 川嶋 睦己さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

7月は久留米のシンボルである筑後川について知ろうということで、『筑後川の生き物』をテーマにお送りしていきます。

今回のゲストは、この方です。

ゲスト:川嶋睦己さん (以下「川嶋」)

筑後川防災施設くるめウスの川嶋睦己と申します。

よろしくお願いします。

坂本 川嶋さんは防災施設くるめウスにお勤めということですが、聞くところによると落語で防災のお話をされていると聞いているんですが、本当ですか？

川嶋 防災ってなかなか敷居が高くて取り組みにくいテーマなので、落語で気軽に関心を持っていただけたらなってことで、防災落語というものをさせていただいております。

坂本 面白い取り組みですね。一度、この番組で放送したかったなと思いますが、今回のテーマは生き物なので、残念ながらまたの機会にということで。

それでは、筑後川の生き物シリーズ第2回のテーマは、今が旬の魚『エツ』です。

毎年この時期になると、テレビなんかでエツ漁が話題になりますが、7月20日までがエツ漁の解禁期間中だそうです。

久留米にお住まいの方でも、エツを食べたことがある人はそんなに多くないような気がします。

幻の魚とも呼ばれていますが、このエツはどんな魚なのか紹介していただけますか？

川嶋 エツは、生物の分類上はカタクチイワシの仲間になります。

カタクチイワシといえば、お出汁をとる煮干しや、イタリア料理で使われるアンチョビなどの材料になるお魚もカタクチイワシの仲間になります。

そう聞くと少し身近に感じませんか？

坂本 そうですね。

ちょっといい味が出て、美味しそうな感じですよ。

私はエツ料理を何種類か食べたことがありますが、一番美味しかったのは、唐揚げというか素揚げ
というか、揚げたものですね。

エツは小骨が多いんですけど、揚げるとシャリシャリした食感で骨まで非常に美味しくいただきました。

さらにどんな魚なのか、もうちょっと詳しく教えてください。

川嶋 美味しいですよ。唐揚げのお話で、口の中がよだれでいっぱいになってしまいました。

このエツは、日本では有明海だけに生息する貴重なお魚なんです。

でも、中国や韓国にも類似の種類があるので、大昔に日本は中国大陆と陸続きだったことを示す
お魚とされています。

歴史的な証明も繋がる非常に重要なお魚であるとともに、久留米の食文化や、観光資源としても
大変重要なお魚だと思います。

坂本 エツは、歴史的にも重要な生き証人なんですね。

エツの形についても教えてください。

川嶋 エツは体の側面が美しい銀白色（シルバー）をしていて、正面から見るとすごく薄くて平べったい
ですね。

なので、ナイフのようだとよく言われるんです。

動物性プランクトンを餌にしていて、体はだいたい40cmぐらいまで大きくなると言われています。

坂本 この時期、エツは川を遡ってくるんですよね？

川嶋 毎年、5月から7月にかけて筑後川で卵を産むために遡上をしてくるんですね。

産まれた卵は、およそ1日で孵化して、秋頃までは川で過ごすそうなんですけど、その後、流れに乗
って海に下っていきます。

寿命は、だいたい4年ぐらいだと言われています。

中国などでも大きな川に遡上して産卵するらしいので、有明海に流れ込む河川の中では筑後川が
一番そういった川に似ていて、産卵に適しているんでしょうね。

坂本 エツは、子供の間ちょっとだけ川にいて、その後は一生のほとんどを海にいる。

そういう意味じゃ、筑後川は子供達の育つ環境としても良いんでしょうね。

川嶋 そうですね。

久留米で育った人が、東京に行って一旗揚げするようなイメージに近いのかもしれないね。

坂本 それでは、エツにまつわる面白い話とかがあれば教えてください。

川嶋 これは有名な話なのでご存知な方もいらっしゃるかもしれませんが、その昔、弘法大師が有明海が

ら筑後川を登って城島に入ったそうです。

そして、対岸の肥前に渡ろうとしたんですけど、お金がなかったので渡し舟に乗ることができなかったそうです。

それで弘法大師が困っていると、城島の漁師さんがかわいそうだということで、船を出して対岸に渡してくれたそうです。

そのお礼ということで、弘法大師が河岸に生えていたヨシの葉をちぎってポンと川に投げ込んだところ、それがエツに姿を変えたそうです。

その後、城島の方では、この時期を迎えるとエツ漁で賑わうようになったという伝説が残っているんですね。

余談ですが、全国各地に弘法大師にまつわるお話って色々あるんですけど、エツの話のように親切にしてもらったお礼に良い事が起きるパターンもあれば、逆のパターンもあるみたいで、例えば農家に意地悪をされた弘法大師が、その仕返しに地域の川から水を消してしまったというような怖いお話もあるそうです。

坂本 それは怖いですね。

人には親切にしましょうってことですね。

川嶋 城島の方はとても親切だったってことかもしれませんね。

坂本 城島では、毎年エツ漁の解禁の式典があるんですけど、そこでこの話が再現されてまして、城島総合支所の支所長さんが弘法大師の役をしたりするんです。

これがめっちゃめっちゃ似合ってる面白いです。

お話はつきませんが、くるめウスの川嶋さん、今回も面白い話をどうもありがとうございました。

筑後川防災施設くるめウスは、久留米市新合川の筑後川側にあります。

開館時間は、午前9時30分から午後5時までで、毎週月曜日はお休みです。ぜひお出かけ下さい。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、お休みすることもあります。

次回は、知る人ぞ知る『オヤニラミ』をテーマにお届けします。

川嶋さん、来週もよろしくお願ひします。